
モルゴーア・クアルテット Morgaua Quartet

MORGAUA QUARTET (モルゴーア・クアルテット) は、ショスタコーヴィチの残した 15 曲の弦楽四重奏曲を演奏するため 1992 年秋に結成された弦楽四重奏団。

翌'93 年 6 月に第 1 回定期演奏会を開始。

2001 年 1 月の第 14 回定期演奏会でショスタコーヴィチの残した弦楽四重奏曲全 15 曲を完奏。

同年 4 月、第 2 ヴァイオリンを青木高志から戸澤哲夫に交代。

'01 年 11 月からは「トリトン・アーツ・ネットワーク」との共催公演で《モルゴーア・クアルテット ショスタコーヴィチ・シリーズ》を 5 回に亘って行ない、'03 年 12 月に 2 度目の全曲完奏。

'03 年 6 月の第 19 回定期演奏会でベートーヴェンの後期弦楽四重奏曲を完奏。

'05 年 4 月、マイスター・ミュージックから《ボロディン：弦楽四重奏曲集》を発売。

'06 年 6 月第 25 回定期演奏会でバルトークの弦楽四重奏曲全 6 曲を完奏。

同'06 年 9 月には「トリトン・アーツ・ネットワーク」との共催でショスタコーヴィチ生誕 100 周年記念弦楽四重奏曲全曲演奏会を行ない、3 日間で完奏。

'08 年 11 月、東京フィルハーモニー交響楽団 第 761 回サントリー定期シリーズにマルティヌー作曲「弦楽四重奏と管弦楽のための協奏曲」のソリストとして招聘され、弦楽四重奏団としての高いクオリティを評価された。

'09 年 1 月の第 30 回定期演奏会でベートーヴェン中期弦楽四重奏曲を完奏。

'12 年 6 月、結成 20 周年記念ガラコンサート「20th Anniversary Morgaua Quartet GALA」を福島、東京、大阪で開催。

'12 年 6 月と'14 年 5 月、そして'17 年 3 月に日本コロムビアからリリースした、荒井英治編曲のプログレッシヴ・ロック・アルバム《21 世紀の精神正常者たち》《原子心母の危機》《トリビュートロジー》により、ボーダーレスな弦楽四重奏団としても高い評価を受ける。

ショスタコーヴィチ没後 40 年(2015)から生誕 110 年(2016)をつなぐ「ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全 15 曲演奏会」を'15 年大晦日から'16 年元旦にかけて「横浜みなとみらい小ホール」で開催。一晩で全曲を演奏するという矚目のプログラムで多くの聴衆を集め、4 度目の完奏。

1998 年 1 月第 10 回「村松賞」、2011 年 5 月「2010 年度アリオオン賞」、2016 年 9 月「第 14 回佐川吉男音楽奨励賞」、2017 年 9 月「第 47 回 JXTG 音楽賞洋楽部門 本賞」、2018 年 6 月「第 28 回みんゆう県民大賞 芸術文化賞」受賞。

モルゴーア・クアルテットの斬新なプログラムと曲の核心に迫る演奏は、常に話題と熱狂を呼んでいる。

「モルゴーア」はエスペラント語 (morgaŭa = 明日の) に原意を持つ。

- 第 1 ヴァイオリン 荒井 英治 (あらい えいじ)
元東京フィルハーモニー交響楽団ソロ・コンサートマスター
- 第 2 ヴァイオリン 戸澤 哲夫 (とざわ てつお)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスター
- ヴィオラ 小野 富士 (おの ひさし)
元 NHK 交響楽団次席ヴィオラ奏者
- チェロ 藤森 亮一 (ふじもり りょういち)
NHK 交響楽団首席チェロ奏者

(令和 2 年 8 月現在・転載禁止)

公益財団法人 三井住友海上文化財団

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1 三井住友海上テブコビル 5 階

TEL : 03-3562-9523 / FAX : 03-3535-7635